※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1009 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 論理国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選　論理国語」（三省堂） | | | | | | |
| 副教材等 | 「三訂版　入試頻出漢字＋現代文重要語彙　ＴＯＰ２５００」（いいずな書店）<br>「イラストとネットワーキングで覚える　現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考え、発言していくための活動を行います。
・多くの文章を通して、「読む能力」と「書く能力」をしっかりと身につけ、それらを活用して著者の考えを理解し、自身の考えを他者に上手に伝える力を身につけてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで丁寧に取組みましょう。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

## ２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・ 能力を次のとおり育むことをめざす。

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
（２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な漢字や語句を豊かにし、その意味を理解し適切に使っている。 | 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、他者の意見に耳を傾け、協働することができる。 | 言葉を通じて、積極的に他者と関わったり思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値を理解し、言葉を効果的に使うことができる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 思考力と対比して論理力とは何かを考える。<br>［教材］<br>論理力と思考力 | a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 論理の組立てと文章構成の関係について理解する。<br>［教材］<br>納得の構造 | a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。<br>c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 都市生活における自己と他者の関係について考える。<br>［教材］<br>ぬくみ | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。<br>c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 未来世代への責任という観点から環境問題を考える。<br>［教材］<br>世代間倫理としての環境倫理学 | a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。<br>c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 言葉とアイデンティティの関係について考える。<br>［教材］<br>言葉がつくる女と男 | a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。<br>b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。<br>c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 「痛み」に着目して医療や科学の限界について考える。<br>［教材］<br>病と科学 | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。<br>c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。<br>［教材］<br>ミロのヴィーナス | a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。<br>b[書]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。<br>c：進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 科学の知とはどのようなものかを理解する。<br>［教材］<br>「なぜ」に答えられない科学 | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。<br>c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | アメリカの陪審制度の事例をもとに「市民」の意味について考える。<br>［教材］<br>「市民」のイメージ | a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。<br>c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　５０　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間